

共通論題

「市民公開講座」として開催

「東アジアの経済統合と発展—AEC、RCEP、TPP と一帯一路—」

The Economic Integration and Development in East Asia

—AEC ,RCEP , TPP and One Belt/ One Road—

東アジアでは ASEAN が経済統合を牽引してきた。ASEAN は、1976 年から域内経済協力を開始し、1992 年からは ASEAN 自由貿易地域(AFTA)を推進し、2015 年末には ASEAN 経済共同体 (AEC) を創設した。また東アジアにおいては、アジア経済危機を契機に ASEAN +3 や ASEAN+6 などの ASEAN を中心とした重層的な協力が展開してきた。また ASEAN を軸とした ASEAN+1 の FTA が確立されてきた。

そして 2008 年からの世界金融危機後の構造変化の中で、TPP が大きな意味を持ち始め、ASEAN と東アジアの経済統合に大きな影響を与えている。東アジア全体の FTA は、これまでは構想されたものの交渉には至らなかったが、TPP 交渉が進展する中で、2011 年 11 月には ASEAN が東アジア地域包括的経済連携 (RCEP) を提案し、2013 年 5 月には交渉が開始された。また 2015 年 10 月には、TPP が遂に大筋合意に至った。TPP は、ASEAN と RCRP を含めた東アジアの経済統合に、更に影響を与えるであろう。他方、中国は、独自の「一帯一路」や、アジアインフラ投資銀行 (AIIB) による協力を進めている。

ASEAN、中国、韓国、インド、そして日本は、どのように東アジアの経済統合と FTA を推進して行くのか。それは、現代の世界経済における成長の中心である東アジア経済の発展においても、きわめて重要である。

本セッションでは、東アジアの経済統合と発展に関して、北東アジア、東南アジア、南アジアを含めた広域の東アジアから分析する。また経済だけではなく、政治と国際関係からの論点も議論したい。

司会 清水一史 (九州大学)

報告 1 石川幸一 (亜細亜大学) 「東アジアの経済統合と FTA」

報告 2 平川均 (国士舘大学) 「東アジアの経済統合と新たな可能性」

報告 3 遊川和郎 (亜細亜大学) 「一帯一路の政治経済学的考察」

討論 石上悦朗 (福岡大学)

討論 大庭三枝 (東京理科大学)